

第7次宮津市総合計画後期基本計画中間案等に対するパブリックコメント実施結果について

宮津市企画財政部

- 1 意見の募集期間 令和7年11月1日(土)～令和7年11月14日(金)
- 2 意見の募集方法 直接持参・郵送・FAX・電子メールで受付け
- 3 意見提出件数 1名・10件
- 4 意見に対する市の考え方

	意見概要	市の考え方
1	将来像の実現に向けた5つの視点の「(1) 市民協働」について、宮津市にある各種団体、企業の全容が分からないので、会社名、従業員数、男女比率、年齢層、行っている事業、業務内容、しごと内容を各企業ごとに公開して、市民に分かる様にして欲しい。	〈商工業振興〉の5年間の対応方向・具体的方策に記載のとおり、ハローワークや教育機関等と連携し、就職者に届くプロモーションを進めていきます。
2	将来像の実現に向けた5つの視点の「(1) 市民協働」について、大学や外部専門家を活用するとあるが、宮津市には大学はないことから、京都市内の国公立、私立大学と同レベルの研究・開発・技術・最新情報・学術的価値などを得られるようにする必要がある。	宮津市では京都市内の大学等と包括協定を締結しており、〈市民協働〉の5年間の対応方向・具体的方策に記載のとおり、大学等のリソースを活用し、地域課題の解決等に取り組む地域への支援を進めていきます。
3	将来像の実現に向けた5つの視点の「(1) 市民協働」について、外部専門家については、公認会計士、不動産鑑定士を各々複数人含めることを求める。	宮津市では、必要に応じて、公認会計士資格を持つ大学教授をはじめ弁護士や土地家屋調査士等外部の専門家を各種審議会等の委員に委嘱しています。今後も、必要に応じて外部の専門家と連携して、事業を進めていきます。
4	将来像の実現に向けた5つの視点の「(2) DX活用」について、ICT(情報通信技術)の浸透には、各家庭への浸透の為には、高速通信に対応したPCの購入や家屋内で情報を飛ばせる機器等への資金援助が必要ではないか。	貴重なご意見として承り、今後の施策検討の参考にさせていただきます。
5	将来像の実現に向けた5つの視点の「(2) DX活用」について、光回線については、NTT西日本が通信速度10Gを可能にしているが、宮津市への普及はいつになるか分からない。5Gの未普及と合わせて、10代から30代の世	貴重なご意見として承り、今後の施策検討の参考にさせていただきます。

	代に宮津市は田舎でどうしようもないと思うきっかけを与えることになっていそうだ。	
6	将来像の実現に向けた5つの視点の「(3) SDGs」について、宮津市 SDGs 未来都市計画はどこに公開しているのか。経済、社会、環境の3側面に關わる各種施策を講じていくとあるが、具体的な対象項目と施策が分からない。具体的に示すべきではないか。	宮津市 SDGs 未来都市計画については、宮津市ホームページ (https://www.city.miyazu.kyoto.jp/uploaded/attachment/9296.pdf) に公開しています。 令和8年度から令和12年度を計画期間とする宮津市 SDGs 未来都市計画を今年度中に策定する予定としており、具体的な対象項目と施策については、そちらに記載することとしています。
7	将来像の実現に向けた5つの視点の「(3) SDGs」について、SDGsを進めるのは宮津市だけではないので、進行過程・進行結果として、加佐郡大江町、天田郡三和町・夜久野町が福知山市に編入されたように、〇〇市宮津町になったりする可能性がありはしないか。	貴重なご意見ありがとうございます。
8	将来像の実現に向けた5つの視点の「(4) 多様性の尊重」について、「宮津市の方は、懐疑的になる人が多い。懐疑的になられては、移住者が定着しない。若い人はそんな態度や姿をよく見えて、懐疑的に対して良くは思っていない」と言われたことがある。私は、宮津市の人が懐疑的と感じたことがないが、他の市町村から移住された人は、実際に懐疑的と思われる人が多いのか。	〈シティプロモーション〉の5年間の対応方向・具体的方策に記載のとおり、宮津に暮らす人々が「暮らしやすさ」や生活の「豊かさ」を実感できるインナープロモーションに取り組み、住民の地域への関心や愛着の醸成を進めます。
9	将来像の実現に向けた5つの視点の「(4) 多様性の尊重」について、今は、安倍元首相銃撃事件などがある時代なので、宮津市の保安維持を検討して欲しい。	〈防犯・交通安全〉の5年間の対応方向・具体的方策に記載のとおり、宮津警察署と連携し、犯罪のないまちを目指し取組を進めていきます。
10	将来像の実現に向けた5つの視点の「(5) 健全な行政運営」について、経営視点に立った効率的・有効的な行政運営を進める為には、宮津市職員に公認会計士の登録をした職員が必要と考える。宮津市から予算を出して、公認会計士登録者を輩出してはどうか。	将来像の実現に向けては、中長期的に安定した行財政運営が必要であり、「①中長期的な視点による行財政運営と高コスト体質の改善」「②安定した行財政運営に向けた財政規律の強化」「③重要課題への着実な対応と優先的な財源配分」により、「安定した行財政基盤の構築」と『共に創る みんなが活躍する 豊かなまち“みやづ”』の実現の両立に向けて取り組んでいきます。